

特集

恐竜調査隊が行く

岡山理科大教授・石恒忍



化石産地をジオパークに

6月末にモンゴルへ行ってきました。今年も発掘ですか？」
「いえいえ、今回は化石の保護の仕事です」
「保護？」
ゴビ砂漠の化石はそのままですと雨風など自然の方でこわれていきます。また人間のさまざまな活動によってこわされてい

るのも事実です。たとえば写真の恐竜足跡は3頭の中型肉食恐竜が並んで走ったことがわかる大変貴重な化石です。全体では絵のように21頭が並んで走ったことまでわかっています。この場所は発見のあ

と、主要道の近くということもあって訪れる人々が多くなり、車などによって化石の破壊が進んでしまいました。これではだめだということ

で、モンゴルの人々はこの場所を保護地域に指定し、化石産地を柵で囲ったり、足跡化石の上に屋根をかけたたりして保護しています。

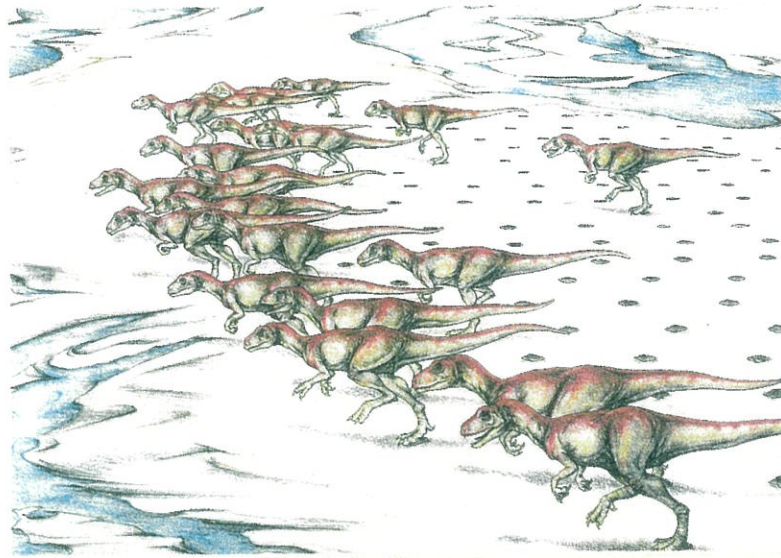
昨年からは、ゴビ砂漠に暮らす人々が、化石を大事に保護するとともに、それを見に来る人々を世界中から集めてガイドする「ジオパーク」という仕組みをつくらうとしています。ユネスコが自然保護と、地域の持統

ス



林原一モンゴル共同調査隊が発見した時の足跡化石の写真。3頭の中型肉食恐竜が手前から写真奥の方へ並んで走っている足跡です

現地と保護に取り組む



全部で21頭の中型肉食恐竜が走る姿はこんなふうだったことでしょう (絵・吉田美美)

的な発展を支援する活動で、モンゴルではこの足跡化石産地を「ジオパーク」第1号にしようとしています。今回の私のモンゴル行きはその準備アドバイザーとしての仕事でした。私たちとモンゴルの共同調査隊は、化石発掘と研究のほかに、現地の人々と協力して保護に取り組むことも仕事の1つです。



まめちしき 豆知 識

化石産地「シャルツァフ」1995年に林原一モンゴル共同調査隊が発見しました。現在は大きな説明板が立ち、保護されています。「化石を見たい、ゴビ砂漠の自然を体験したい」という人々を温かく迎える場所になることを目指しています。